

|                   |
|-------------------|
| 事業所自己評価・ミーティング様式  |
| 1. 初期支援（はじめのかかわり） |

|      |  |
|------|--|
| 実施日  | 2025年9月1日（19：20～20：40）                         |
| メンバー | 菅 小室 近藤 和知 橋本 北村 高宮 金子<br>片野 畑中 権田 佐野 小林 西川 小竹 |

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄        |                    | よく<br>できている  | なんとか<br>できている | あまり<br>できていな<br>い | ほとんど<br>できていな<br>い | 合計（総人数） |
|------------------|--------------------|--|---------------|-------------------|--------------------|---------|
| ①                | 前回の課題について取り組みましたか？ | 8  | 4             | 1                 | 0                  | 13      |
| 前回の改善計画          |                    | 個人記録の備考欄を活用する。新規利用者のケアで知り得た情報は備考欄に記入し、全員に情報が伝わるように運用していく。                    |               |                   |                    |         |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 |                    | 年度途中で記録方式が紙媒体から ICT 方式へと移行した。移行するまでは紙媒体での備考欄を活用する事が出来ていた。移行後の記録の統一が課題となっている。 |               |                   |                    |         |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 |  | よく<br>できている | なんとか<br>できている | あまり<br>できていな<br>い | ほとんど<br>できていな<br>い | 合計（総人数） |
|-----------|--|-------------|---------------|-------------------|--------------------|---------|
| ①         | 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？     | 15          | 0             | 0                 | 0                  | 15      |
| ②         | サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？     | 14          | 1             | 0                 | 0                  | 15      |
| ③         | 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか？        | 15          | 0             | 0                 | 0                  | 15      |
| ④         | 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？ | 15          | 0             | 0                 | 0                  | 15      |

|         |   |
|---------|---|
| できている点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用開始前に、ミーティングや情報シートで本人と家族の情報を共有した。そのため、通いを利用するにあたり席の配置などスムーズに行うことができた。</li> <li>・ICT 化で記録の方法が変わった。本人の発言や家族との連絡は要連絡レベルが色分けされ、クローズアップしやすくなった。それをミーティングで共有し次のケアにつなげられた。</li> <li>・通い始めの頃はなるべくスタッフが側にいて、他の利用者との関係作り等に配慮した。また送迎時には家族との関係作りを意識した。訪問では相手の生活の仕方を聞きながら支援した。その様子をスタッフ間で共有した。</li> <li>・新規利用者のニーズに合った支援内容をスタッフ間で相談し、入浴や排泄支援など直接ケアにあたったスタッフがミーティングや申し送りで全スタッフに情報を伝達した。利用者とも相談しながら行い、無理のない支援ができた。</li> <li>・ミーティングの出席率は80%以上で、事前の情報共有や意見交換ができた。</li> </ul> |
| できていない点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度途中で、記録法が手書きから記録ソフトになった為「備考欄」の活用が無くなった。そのため記録ソフトからの情報の共有は試行錯誤している段階である。色付けで注意喚起されていないと読まずに済ませてしまいがち。</li> <li>・記録の内容が簡略的になっており、利用者の言葉や表情など細かく入力しきれていない。そのため、口頭での伝達が多い。</li> </ul>  |

|               |                                      |
|---------------|--------------------------------------|
| 次回までの具体的な改善計画 | 欲しい利用者情報にスムーズにアクセスできるような記録の方法を統一化する。 |
|---------------|--------------------------------------|

|                        |
|------------------------|
| 事業所自己評価・ミーティング様式       |
| 2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重) |

|      |  |
|------|--|
| 実施日  | 2025年9月1日 (19:20～20:40)                        |
| メンバー | 菅 小室 近藤 和知 橋本 北村 高宮 金子<br>片野 畑中 権田 佐野 小林 西川 小竹 |

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄        |                    | よく<br>できている   | なんとか<br>できている | あまり<br>できていない | ほとんど<br>できていない | 合計 (総人数) |
|------------------|--------------------|---|---------------|---------------|----------------|----------|
| ①                | 前回の課題について取り組みましたか? | 4   | 9             | 0             | 0              | 13       |
| 前回の改善計画          |                    | 個人記録の備考欄を活用する。新規利用者のケアで知り得た情報は備考欄に記入し、全員に情報が伝わるように運用していく。                             |               |               |                |          |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 |                    | 年度途中で記録方式が紙媒体から ICT 方式へと移行した。移行するまでは紙媒体での備考欄を活用する事が出来ていた。移行後は記録からの共有方法については統一が十分ではない。 |               |               |                |          |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 |  | よく<br>できている | なんとか<br>できている | あまり<br>できていない | ほとんど<br>できていない | 合計 (総人数) |
|-----------|--|-------------|---------------|---------------|----------------|----------|
| ①         | 「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?                        | 11          | 4             | 0             | 0              | 15       |
| ②         | 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?                       | 12          | 3             | 0             | 0              | 15       |
| ③         | 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?            | 11          | 4             | 0             | 0              | 15       |
| ④         | 実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか? | 15          | 0             | 0             | 0              | 15       |

|         |   |
|---------|---|
| できている点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>本人や 家族から聞き取った内容を基に、目標設定をしている。</li> <li>記録の様式が ICT 化され、要連絡レベルで差別化した情報を得やすくなった。</li> <li>「～したい」はケアプランに入れて支援内容とともに、いつでも目を通せるようファイルを作っている。</li> <li>日々利用者に関わる中で その人の「～したい」を感じ取り、申し送りやミーティングを通して情報共有した上で、より良い関わり方ができるよう努めた。自宅でのベッドのレンタル等は日々の関わりから必要性を感じとり導入できた。</li> <li>毎日の振り返りやミーティングで利用者の変化や、利用者同士の関係性を共有しケアに生かしている。</li> <li>施設入所希望がある利用者の家族と、本人の意思等を伝えつつ 会議を数回開催し、本人の希望に沿った結果が出せた。</li> <li>本人の「～したい」について 買い物一つとっても 足りないものを買って届ける、一緒に買い物する、何が要るのか? など、多様な対応をしている。</li> </ul> |
| できていない点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT 化され、書類が閲覧される機会が減り、個々のスタッフに任されることが増えた。</li> <li>本人の「～したい」よりも 家族のニーズに応える事の方がある。(本人よりも、家族のニーズが 前面に出易い)</li> </ul>   |

|               |   |
|---------------|---|
| 次回までの具体的な改善計画 | 利用者の「～したい」の情報は要連絡レベルで色付けし記録に残し、スタッフ間の情報共有を図る。 |
|---------------|---|

|                  |      |  |
|------------------|------|--|
| 事業所自己評価・ミーティング様式 | 実施日  | 2025年9月1日(19:20~20:40)                         |
| 3. 日常生活の支援       | メンバー | 菅 小室 近藤 和知 橋本 北村 高宮 金子<br>片野 畑中 権田 佐野 小林 西川 小竹 |

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄   |                    | よく<br>できている | なんとか<br>できている | あまり<br>できていない | ほとんど<br>できていない | 合計(総人数) |
|---|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ①   | 前回の課題について取り組みましたか? | 8           | 6             | 0             | 0              | 14      |
| 前回の改善計画   |                    |             |               |               |                |         |
| 経験の浅いスタッフに対して基礎的な介護技術、方法を伝える研修を具体的に計画する。  |                    |             |               |               |                |         |
| 前回の改善計画に対する取組み結果  |                    |             |               |               |                |         |
| 法人内の訪問介護事業所に講師を依頼し、介護技術研修(ベッド上でのオムツ交換)を開催した。経験の浅いスタッフは技術習得を、それ以外のスタッフも介護の基本(声掛けや排泄介助に関わる時の配慮など)を確認しあつた。新人スタッフには自宅を訪問した際に、その人の生活をみる視点を指導した。身体ケアも実践してもらう機会を意識して作った。 |                    |             |               |               |                |         |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 |   | よく<br>できている | なんとか<br>できている | あまり<br>できていない | ほとんど<br>できていない | 合計(総人数) |
|-----------|---|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ①         | 本人自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか? | 10          | 5             | 0             | 0              | 15      |
| ②         | 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?        | 15          | 0             | 0             | 0              | 15      |
| ③         | ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?       | 14          | 1             | 0             | 0              | 15      |
| ④         | 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?           | 12          | 3             | 0             | 0              | 15      |
| ⑤         | 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?            | 13          | 2             | 0             | 0              | 15      |

| できている点   |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>食事の場面では席や介助の仕方などを工夫し、結果を共有し次につないだ。</li> <li>日々の関わりの中で、以前の暮らし方や思いなどを理解できるように利用者とは話す機会を積極的につくった。知り得た情報は、チーフ(全体を見てスタッフ配置や流れを調整、指示を出す担当)に情報を集め記録に残し、小規模ならではの「つながるケア」ができるよう努めている。</li> <li>本人の体調に合わせて通いから訪問サービスに切り替える、夏の脱水予防の為、期間限定で訪問を増やすなど柔軟に対応した。また、宿泊サービス時では、横になる時に常にペットボトルを置いているなど、自宅での生活習慣他、その方に合わせた環境づくりやケアを取り入れた。</li> <li>本人の状況に合わせて、例えば血圧が高い場合はシャワー浴や足浴といった入浴の代わりに対応ができています。</li> <li>皆積極的に、利用者には話しかけ 利用者の事を知る努力に、時間をかけている。</li> </ul> |
| できていない点  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>ミーティングで発言するスタッフは決まっている。些細な気づきも発信できるよう皆が発言できる工夫が必要、だと感じる。</li> <li>利用者の言動や表情などの記録は日によって少ない事がある。</li> </ul>   |

| 次回までの具体的な改善計画   |
|---|
| <p>利用者の日々の変化に素早く気付けるような、情報の記録の方法や残し方を考える。記録の仕方を統一化し、分かりやすく情報が共有できるように図る。</p> <p style="text-align: center;">事-③</p> |

|                  |      |  |
|------------------|------|--|
| 事業所自己評価・ミーティング様式 | 実施日  | 2025年9月1日(19:20~20:40)                         |
| 4. 地域での暮らしの支援    | メンバー | 菅 小室 近藤 和知 橋本 北村 高宮 金子<br>片野 畑中 権田 佐野 小林 西川 小竹 |

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄                    |                    | よく<br>できている | なんとか<br>できている | あまり<br>できていない | ほとんど<br>できていない | 合計(総人数) |
|------------------------------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ①                            | 前回の課題について取り組みましたか? | 6           | 6             | 0             | 0              | 12      |
| 前回の改善計画                      |                    |             |               |               |                |         |
| 地域資源についての事例検討をワーク形式で行ってゆく。   |                    |             |               |               |                |         |
| 前回の改善計画に対する取組み結果             |                    |             |               |               |                |         |
| 9月までには、ワーク形式での取り組みは実施できなかった。 |                    |             |               |               |                |         |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 |  | よく<br>できている | なんとか<br>できている | あまり<br>できていない | ほとんど<br>できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ①         | 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?           | 10          | 5             | 0             | 0              | 15      |
| ②         | 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?       | 15          | 0             | 0             | 0              | 15      |
| ③         | 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか? | 11          | 4             | 0             | 0              | 15      |
| ④         | 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?        | 11          | 4             | 0             | 0              | 15      |

|         |  |
|---------|--|
| できている点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の友人が 事業所に来訪し、なごやかに過ごしていた。事業所は家族と友人のつなぎ役をした。</li> <li>・成年後見の説明を必要と思われる人にした。(2名)</li> <li>・ミーティングではスタッフが気付いたことを報告、事業所以外の社会資源の利用状況等も含めて検討した。特に医療関係や福祉用具等は議題にあげ本人や家族に提案した。</li> <li>・本人や 家族との会話の中で 今までの過ごし方やこれまでの様子など、把握するよう努めている。その方の趣味や活動に合わせて、訪問時間を設定したり 行きつけの美容院の予約に合わせて送迎時間の調整をしたりと、これまでの生活が継続できるよう 実践している。</li> <li>・ゴミ出しが難しくなった利用者に、市のふれあい収集の利用を開始した。</li> <li>・利用者同士で以前からの付き合いがあったことを知った。</li> <li>・本人のニーズに合わせ、顔なじみのスーパーに 買い物に行ったり、行きつけの美容院への送迎などの支援ができています。</li> </ul> |
| できていない点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に通いサービスのみを担当していると、今の暮らしに必要な地域資源についての意識の持ち方が、不足しがちである。</li> <li>・ミーティングにおいて伝達事項の多さからか 事例検討の機会が少なかった。</li> </ul>  |

|               |                 |
|---------------|-----------------|
| 次回までの具体的な改善計画 | 「事例検討」勉強会を開催する。 |
|---------------|-----------------|

|                  |      |  |
|------------------|------|--|
| 事業所自己評価・ミーティング様式 | 実施日  | 2025年9月1日(19:20~20:40)                         |
| 5. 多機能性ある柔軟な支援   | メンバー | 菅 小室 近藤 和知 橋本 北村 高宮 金子<br>片野 畑中 権田 佐野 小林 西川 小竹 |

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄                                  |                    | よく<br>できている | なんとか<br>できている | あまり<br>できていない | ほとんど<br>できていない | 合計(総人数) |
|--|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ①  | 前回の課題について取り組みましたか? | 14          | 0             | 0             | 0              | 14      |
| 前回の改善計画                                    |                    |             |               |               |                |         |
| 引き続き、本人や家族のニーズや体調に合わせて柔軟な支援をしていく。          |                    |             |               |               |                |         |
| 前回の改善計画に対する取組み結果                           |                    |             |               |               |                |         |
| 柔軟な支援が行えるのは小規模多機能型事業所の強みであり、その支援はしっかりと行えた。 |                    |             |               |               |                |         |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄   |   | よく<br>できている | なんとか<br>できている | あまり<br>できていない | ほとんど<br>できていない | 合計(総人数) |
|---|---|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ①   | 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?          | 13          | 2             | 0             | 0              | 15      |
| ②   | ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?           | 14          | 1             | 0             | 0              | 15      |
| ③   | 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか? | 15          | 0             | 0             | 0              | 15      |
| ④   | その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?          | 14          | 1             | 0             | 0              | 15      |
| できている点  |   |             |               |               |                |         |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・その方のアセスメントを行い 適切なサービス(地域資源も含め)が提供できている。(訪問診療や移送サービスふれあいゴミ収集、近隣住民の見守り 他)</li> <li>・利用者の変化 体調などに合わせて 訪問したり、速やかに医療につなげたり、と臨機応変な対応ができている。</li> <li>・事業所内は記録の色付け等で本人の変化は共有している。他事業所とMCS等で情報共有している。</li> <li>・ゴミ出しをスタッフがまたは 本人と一緒に、などその日の利用者の気持ちや状況に合わせて支援している。</li> <li>・家族の予定に合わせ訪問や通いで、本人の生活を支えるよう対応している。</li> <li>・利用者の生活環境の変化や、熱中症予防など期間限定でサービス提供を増やし無事にその期間を過ごせた。</li> <li>・連泊や 固定の宿泊を入れる事で 家族のレスパイトの対応もできている。</li> <li>・気分の浮き沈みの激しい利用者に対し、多数の利用者から離れ静かな環境を用意し落ち着いて過ごしていただいた。</li> <li>・お薬カレンダー、服薬ロボット、手作りのカレンダーと、利用者に合わせて方法で服薬支援を行った。</li> <li>・本人の変化や体調は、申し送りやミーティングで共有した。</li> </ul> |   |             |               |               |                |         |
| できていない点   |   |             |               |               |                |         |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響で、以前のようなボランティアと利用者と一緒に食事の盛り付けや片付けを行う関りが少なくなりました。</li> </ul>   |   |             |               |               |                |         |

|               |  |
|---------------|--|
| 次回までの具体的な改善計画 | コロナ渦で失われてしまった、事業所内でのボランティアと利用者との関りを再構築し利用者の活動を広げる。 |
|---------------|--|

|                  |
|------------------|
| 事業所自己評価・ミーティング様式 |
| 6. 連携・協働         |

|      |  |
|------|--|
| 実施日  | 2025年9月1日(19:20~20:40)                         |
| メンバー | 菅 小室 近藤 和知 橋本 北村 高宮 金子<br>片野 畑中 権田 佐野 小林 西川 小竹 |

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄   |                    | よく<br>できている | なんとか<br>できている | あまり<br>できていない | ほとんど<br>できていない | 合計(総人数) |
|---|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ①   | 前回の課題について取り組みましたか? | 13          | 1             | 0             | 0              | 14      |
| 前回の改善計画   |                    |             |               |               |                |         |
| 引き続き、地域行事に参加する。   |                    |             |               |               |                |         |
| 前回の改善計画に対する取組み結果  |                    |             |               |               |                |         |
| 自治会総会、夏祭り、子供会、消防訓練、地域の清掃活動、市の福祉フェスティバル、その他、地域の行事には積極的に参加した。 |                    |             |               |               |                |         |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄   |  | よく<br>できている | なんとか<br>できている | あまり<br>できていない | ほとんど<br>できていない | 合計(総人数) |
|---|--|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ①   | その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?  | 14          | 1             | 0             | 0              | 15      |
| ②   | 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?                   | 15          | 0             | 0             | 0              | 15      |
| ③   | 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか? | 14          | 1             | 0             | 0              | 15      |
| ④   | 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?                 | 12          | 3             | 0             | 0              | 15      |
| できている点  |  |             |               |               |                |         |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所間の連携協力は かなり意識をして行った。MCS等のツールを活用し 医療と連携を取った。</li> <li>・庭や食事のボランティアが毎日のように来て下さっている。</li> <li>・元利用者の家族が、畑のボランティアとして関わり、収穫した野菜を届けて下さった。</li> <li>・服薬などの 利用者の変化により、担当者会議を開催した。</li> </ul> |  |             |               |               |                |         |
| できていない点   |  |             |               |               |                |         |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスは5類になったが、コンサートを除き、ボランティア以外の地域住民が事業所を訪れる機会が少ない。あらたに作れていない。</li> </ul>   |  |             |               |               |                |         |

|                             |
|-----------------------------|
| 次回までの具体的な改善計画               |
| ご近所とのかかわりは基本に立ち戻って、まず挨拶をする。 |

|                  |
|------------------|
| 事業所自己評価・ミーティング様式 |
| 7. 運営            |

|      |  |
|------|--|
| 実施日  | 2025年9月1日(19:20~20:40)                         |
| メンバー | 菅 小室 近藤 和知 橋本 北村 高宮 金子<br>片野 畑中 権田 佐野 小林 西川 小竹 |

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 |                    | よく<br>できている  | なんとか<br>できている | あまり<br>できていない | ほとんど<br>できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--------------------|--|---------------|---------------|----------------|---------|
| ①         | 前回の課題について取り組みましたか? | 12   | 2             | 0             | 0              | 14      |
| 前回の改善計画   |                    | <p>日誌の行事欄には大きな行事だけでなく小さなレクリエーションも記入し実施した事を記録に残す。</p> <p>前回の改善計画に対する取組み結果</p> <p>小さな(日頃の)レクリエーションを、行事欄へ記入し記録として残した。記入することで毎日行った内容が意識化された。</p> |               |               |                |         |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 |   | よく<br>できている  | なんとか<br>できている | あまり<br>できていない | ほとんど<br>できていない | 合計(総人数) |
|-----------|---|--|---------------|---------------|----------------|---------|
| ①         | 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?          | 10   | 5             | 0             | 0              | 15      |
| ②         | 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?           | 14   | 1             | 0             | 0              | 15      |
| ③         | 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?                 | 13   | 2             | 0             | 0              | 15      |
| ④         | 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか? | 12   | 3             | 0             | 0              | 15      |
| できている点    |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議でいただいた意見に対し、どうしたらその要望に対応できるか、ミーティングで話し合った。開催日以外の利用者にも認知症カフェに参加してもらうにはどうしたらよいかをミーティングで検討、チラシを利用者や家族に配布しお知らせをした。</li> <li>ミーティングや申し送り、各スタッフが情報を発信する事で日々の運営に反映する事ができている。</li> <li>「カラオケをやりたい」「生の音楽にふれたい」など声を拾うことができた。</li> <li>利用者や家族からのケアに対する要望などに対し、ミーティング等で話し合いなるべく応えるように取り組んでいる。</li> <li>まどかコンサートの開催は事業所を地域に開く機会となっている。</li> <li>スタッフが利用者から聞いた近隣の方から介護の相談があった。通信や連絡先をお渡しして、高齢者相談センターにつないだ。</li> </ul> |               |               |                |         |
| できていない点   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ミーティングで発言するスタッフに偏りが見られる。</li> </ul>   |               |               |                |         |

|               |  |
|---------------|--|
| 次回までの具体的な改善計画 | <p>運営推進会議に毎回別の職員が参加し、各職員が運営に携わっているという意識が持てるように、又、参加した職員が運営推進会議で出された意見を事業所に持ち帰り、皆で考える機会を作る。</p> |
|---------------|--|

8. 質を向上するための取組み

メンバー

菅 小室 近藤 和知 橋本 北村 高宮 金子  
片野 畑中 権田 佐野 小林 西川 小竹

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄        |                    | よく<br>できている  | なんとか<br>できている | あまり<br>できていない | ほとんど<br>できていない | 合計 (総人数) |
|------------------|--------------------|--|---------------|---------------|----------------|----------|
| ①                | 前回の課題について取り組みましたか? | 10   | 4             | 0             | 0              | 14       |
| 前回の改善計画          |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングの時間を活用しミニ勉強会を行なってゆく</li> </ul>   |               |               |                |          |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングの時間内にミニ勉強会、オンライン研修、介護技術研修を行った。</li> <li>感染症対策や災害時の対応、高齢者虐待防止、身体拘束適正化に関する研修等ほぼ全員が参加した。</li> </ul> |               |               |                |          |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 |                             | よく<br>できている   | なんとか<br>できている | あまり<br>できていない | ほとんど<br>できていない | 合計 (総人数) |
|-----------|-----------------------------|---|---------------|---------------|----------------|----------|
| ①         | 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか     | 13  | 2             | 0             | 0              | 15       |
| ②         | 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか | 13  | 1             | 1             | 0              | 15       |
| ③         | 地域連絡会に参加しています               | 12  | 3             | 0             | 0              | 15       |
| ④         | リスクマネジメントに取り組んでいますか         | 13  | 2             | 0             | 0              | 15       |
| できている点    |                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新人研修は1カ月以上行い一定のケアができるようにカリキュラムを組んで実施した。</li> <li>・法人内の他部署に講師を依頼し介護技術研修を実施、新人スタッフのみならず、全スタッフがケアの基本を再確認できた。</li> <li>・受けた研修を各自にアンケートをとり研修の声掛けをした。</li> <li>・ヒヤリハット・事故報告は、その日の振り返りやミーティングで次に活かせるように話し合いをして再発防止に取り組んだ。</li> <li>・リスクマネジメントについて、日々のケア内で新人などに伝達した。</li> </ul> |               |               |                |          |
| できていない点   |                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新人含めリスクの予測欠如により、薬の飲み忘れなど再発して、同じようなヒヤリや事項報告が多かった。</li> </ul>   |               |               |                |          |

次回までの具体的な改善計画

リスクマネジメントについて事業所全員で取り組む。具体的には、ミーティングで一つ事例を決めて、その事を皆で深掘して話し合う。

|                  |      |  |
|------------------|------|--|
| 事業所自己評価・ミーティング様式 | 実施日  | 2025年9月1日(19:20~20:40)                         |
| 9. 人権・プライバシー     | メンバー | 菅 小室 近藤 和知 橋本 北村 高宮 金子<br>片野 畑中 権田 佐野 小林 西川 小竹 |

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄        |                    | よく<br>できている   | なんとか<br>できている | あまり<br>できていない | ほとんど<br>できていない | 合計(総人数) |
|------------------|--------------------|---|---------------|---------------|----------------|---------|
| ①                | 前回の課題について取り組みましたか? | 10  | 4             | 0             | 0              | 14      |
| 前回の改善計画          |                    | 身体拘束、虐待の研修をミーティングの時間を活用しミニ勉強会を行なう。<br>成年後見制度については事例検討を行い勉強する。 |               |               |                |         |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 |                    | 身体拘束、虐待のオンライン研修を実施した。<br>成年後見制度の事例検討の勉強会は実施できなかった。            |               |               |                |         |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 |                    | よく<br>できている   | なんとか<br>できている | あまり<br>できていない | ほとんど<br>できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--------------------|---|---------------|---------------|----------------|---------|
| ①         | 身体拘束をしていない         | 15  | 0             | 0             | 0              | 15      |
| ②         | 虐待は行われていない         | 15  | 0             | 0             | 0              | 15      |
| ③         | プライバシーが守られている      | 13  | 2             | 0             | 0              | 15      |
| ④         | 必要な方に成年後見制度を活用している | 10  | 5             | 0             | 0              | 15      |
| ⑤         | 適正な個人情報の管理ができている   | 14  | 1             | 0             | 0              | 15      |
| できている点    |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>研修で、「不適切な対応」を学び、ミーティングで伝達研修をした。また「身体拘束適正化 高齢者の虐待防止」の研修を、オンライン研修で実施した。</li> <li>身体介助については出来る限り同性介助で行い、シフトの関係でどうしても対応できない時は日程の調整をする、などの対応をしている。</li> <li>記録ソフト導入により より適正な個人情報管理ができるようになった。</li> <li>新人スタッフに対し 送迎表やちょっとしたメモも 取り扱いを誤ると 個人情報漏洩になりうると伝えている。</li> <li>利用者が嫌がる事は、強要せず その気になったときに行うようにしている。</li> <li>まどか通信の写真掲載について、本人や家族に 毎回確認を取っている。</li> <li>言葉かけ(座って居て下さい 待っていて下さい 等)についても気を付けている。</li> </ul> |               |               |                |         |
| できていない点   |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者との信頼関係作りも未熟なうちから 利用者へのフレンドリーな言葉かけや、技術力不足での危険動作が 見られる事があった。</li> <li>成年後見制度の知識が まだ少ないため、どのように生かしていけば良いのか 知識が必要。</li> <li>成年後見制度についての 事例検討の勉強会は、実施できていない。</li> </ul>  |               |               |                |         |

|               |   |
|---------------|---|
| 次回までの具体的な改善計画 | 身体拘束適正化委員会(年4回開催)の中で日頃のケアで不適切な対応はないか検討する。 |
|---------------|---|